

北海道看護協会
札幌第3支部



さん

SAN

ひろば

Contents

- ・看護実践報告会
- ・アサーティブ研修



2026. Vol.35

令和7年度 看護実践報告会



令和7年9月27日(土)、ACU-A16階にて札幌第3支部教育委員会主催「令和7年度看護実践報告会」が開催されました。当日は40名が参加し、14演題の発表が行われました。

昨年度に引き続き多くの参加があり、今年度は「看護研究」だけでなく「実践報告」としたことで、より幅広い内容の発表が増えました。発表では、患者さん一人ひとりに寄り添う看護の実践、チーム医療の中での関わり、特定行為認定看護師や感染管理認定看護師の活動報告など、多様なテーマが取り上げられました。いずれの発表からも、現場での工夫や課題解決への取り組みが感じられ、明日からの看護実践に活かせる学びが多く得られる内容でした。

質疑応答では活発な意見交換が行われ、参加者同士が刺激を受け合う姿が印象的でした。会場全体が一体感に包まれ、充実した有意義な時間となりました。

ご発表いただいた施設の皆様、看護研究・実践報告に携わった関係者の皆様、そして教育委員会の皆様、大変お疲れさまでした。来年度もさらに多くの施設からの参加と発表を期待しています。

広報委員 齊藤和恵 高田千秋

アサーティブコミュニケーション

～自分も相手も大切に自己表現法を学ぶ～

令和7年11月8日(土)、ホテルエミシア札幌3階クラウンにて、札幌第3支部保健師職能研修会が開催されました。講師には北海道医療大学看護学科(精神看護学)の中安隆志先生をお迎えし、参集型で30名が参加しました。

「アサーション」とは、自分も相手も大切に自己表現のことで、自分の意見や感情、要求を率直かつ適切に伝えるコミュニケーションの方法です。講義では、自己表現の3つのタイプ(非主張的・アサーティブ・攻撃的)について学び、アサーティブになれないとストレスが蓄積し心理的不適応を招くこともあることを理解しました。

また、医療現場で活用できる実践的なスキルとして「DESC話法」を学び、相手を尊重しながら自分の思いを伝えるための具体的な方法を身につけました。グループワークでは、後輩指導や医師・上司との関わりをテーマに活発な意見交換が行われました。

講義内容は大変わかりやすく、現場での実践にすぐに活かせる学びが多く、参加者にとって有意義な時間となりました。講師の中安隆志先生、そして札幌第3支部保健師職能委員会の皆様、大変お疲れ様でした。

広報委員 金子雅隆 種田有日子



札幌第3支部今後の事業予定

2025年度札幌第3支部大会

日時:2月14日(土)

会場:ホテルエミシア札幌
3階パレスホール

12:30~

受付

13:00~

支部大会

14:00~

三職能合同講演会

テーマ:共有で変わる組織力

~組織コミュニケーションを学ぶ~

講師:共有フォーラム理事長 太田稔

みなさんの参加をお持ちしています

編集後記

厳しい寒さの中にも、新しい一年の始まりを感じる季節となりました。

忙しい日々の中で積み重ねてきた看護の実践が、皆さま一人ひとりの力となっていることと思います。

札幌第3支部では、本年も現場に活かせる学びや、交流を深められる研修会をお届けしていきます。

本誌が、日々の看護を見つめ直すきっかけとなり、明日への活力につながれば嬉しいです。どうか体調管理に留意され、健やかな一年をお過ごしください。

広報委員 佐藤大樹